

2024年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名		公表日 2025年3月11日						
		利用児童数 4				回収数 4		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	つむぎ内は、こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0	運動スペースは広くてのびのび、勉強スペースは小さめで集中できる環境だと思う	ありがとうございます。 今後、学習の個室部屋を新たに作る予定です
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1	0	0	人数が少ないと思うが個別なので特に不足を感じていない	職員数は今後増員予定です
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で心地よく子ども達の活用に合った環境になっていますか。	4	0	0	0		
適切な 支援の 提供	4	つむぎの職員の支援は、こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援ができていますか。	4	0	0	0	こどもの苦手なことに対してフォローを している	
	5	事業所が公表している支援プログラム（HPに掲載されています）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	1		
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	7	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		
	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	2	毎回同じことをするのはなく前回の物をやりつつ新しいものを取り入れて良い	
	10	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	0	1		
保護者への 説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	1	1	開所したばかりなのでないのは仕方がないと思うが、機会あれば参加を検討したい	今後保護者様向けの研修会等の機会を提供できるように検討していきます
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	0	0	0	家庭と園の様子と共有出来ていると思う。	
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1	0	0	面談の機会はこれからになると思うが助言等あればうれしい	面談は半年に1回モニタリングとして面談をさせていただく予定ですが、ご希望がありましたらいつでもご相談ください
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	1	1	今後参加できるイベント等あれば参加してみたい。	今後イベント等の開催を検討していきます
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	1	1		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0	公式LINEでのやりとりができるので、利用日でなくともすぐに相談できる	

	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	2		
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	2	非常時になったことはないがわからないが訓練を実施していると思う	
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	2	2 2に同じ	避難経路を掲示し、避難訓練を実施した場合は内容を掲示またはSNS等でお知らせいたします
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1	2 2に同じ	
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	2	2 2に同じ	
満足度	26	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	27	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1	0	0	体を動かすことや遊びを含めて全く嫌がることなく通っている	ありがとうございます。 今後もっとご利用児や保護者様に療育内容を満足していただけるよう、職員間での話し合いや、職員研修を定期的の実施し、研鑽に努めて参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	こどもの苦手なことや親が気になっている点など踏まえたくうえで支援してくれ満足している	

2024年度事業所における自己評価結果

公表

事業所名		公表日				
こどものつむぎ3号		2025 年 3 月 11 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		現在職員数は十分でない
	3	事業所等の設備について、バリアフリー化の配慮がされていたり、清潔で心地よく子どもたちの活動に合った環境になっている。	3	0		
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0		
業務改善	5	職員の意見等を把握する機会を設け業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しその内容を業務改善につなげているか。	1	2		
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2		開所して間もないためこれから実施
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	1	2		開所して間もないためこれから実施
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		開所して間もないためこれから実施
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	11	個々のこどもに対して標準化されたアセスメントツールを用いて適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0		
	12	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	14	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	2		個別療育であるため集団活動は実施していない
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、スタッフ間の役割分担を行い、支援後は定期的な振り返りを行い、気付いた点を共有している。	3	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
関係	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	22	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	23	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	24	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		

機 関 や 保 護 者 と の 連 携		(25～27は、センターのみ回答)				
	25	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	26	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	27	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	28	(28は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	3		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		家族が参加できる研修はしていない
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		まだ実施していない
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
非 常 時 等 の 対 応	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		まだ行っていない
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		

	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		

2024年度 事業所における自己評価総括表（こどものつむぎ3号）

公表

○事業所名	こどものつむぎ3号			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就学を見据えた個別療育を実施しています。専門職が従事しています。	・読み書きの前段階である「聞く力」「話す力」を育てるための評価や課題の提供 ・道具操作に必要な微細運動の評価や課題の提供 ・着席に必要である姿勢保持に使う体幹筋を促進するために遊具を使った運動を実施 ・コミュニケーション能力を育てるためにおやつ時間に要求の引き出し、助詞や数の学習	・4月より職員を増員し、多職種それぞれの専門性を活かした療育に繋がります。 ・職員研修を行い、各自が質の高い療育内容を提供できるよう研鑽を積みみます。 ・より集中して取り組めるよう課題の部屋をリニューアルしました。
2	1時間の療育を保護者にみてもらい、こどもの成長や頑張りと一緒に共有することが出来ます	・療育内容の振り返りをしたり、保護者からご家庭での困りごとや様子を聞くための時間をとるようにしています。 ・相談員さんや園の保育士さんや園長に見学に来て様子をみてもらうようこちらから発信しています。	・4月より職員を増員し、多職種それぞれの専門性を活かした療育に繋がります。 ・療育担当した職員は他の職員と情報を共有し、画一したサービスを提供出来るようにします。
3	必要に応じてひとりの利用児に対して児童発達支援と保育所等訪問支援と併用できます。	職員が平日には保育所等訪問支援のサービスを実施しており、児童発達支援を利用している利用児が園生活で困っている場合、訪問支援員の職員が出向くことができます。園での集団生活での困り感を確認し、通所の個別療育で苦手な部分を伸ばすことができます。	訪問支援員としての職員の増員や、資質向上のための人材育成が必要です。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の数が十分ではないと思われます。	まだ開所して間もないのと、現在土曜日のみ通所を開所しているため、必要最少限の人数を確保しています。	・4月より職員を増員し、多職種それぞれの専門性を活かした療育に繋がります。
2	研修やイベントなどの保護者同志の交流の機会がまだないです。	まだ開所して間もないためです。	来年度利用児や保護者同志の交流の機会となるイベントや研修会を企画します。
3	定期的な通信やホームページ・SNS等で活動概要を発信しているという周知が足りません。	インスタグラムなどのSNSで発信していることを積極的に公表していなかったかもしれません。	・契約時にインスタグラムで発信していることを紹介します。 ・通所の玄関に公示して周知してもらいます。